



水島協同病院 だより

[病院理念] いつでも、だれもが、安心してかかる医療を追求します。

No.352

2023. 11月号



水協のホーム
ページもご覧
ください

<https://www.mizukyo.jp>

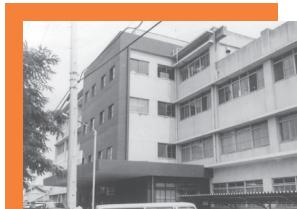
70th ~地域とともに これからも~



旧水島協同病院の待合室の様子
外来は多い日には800人以上になることもあった(1980年代)



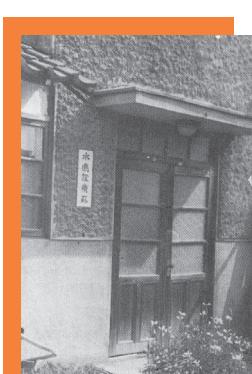
オープン当初のみずしま診療所
1階ホールの様子
外来と入院機能が分離されることになった



創立から13年で257床という
病院へと成長していった
協同病院(1966年)



赤い屋根が印象的だった
水島協同組合病院、ベッド数は25床だった(1956年)



開所当時の水島診療所
(1953年)



建設途中の現水島協同病院
1年5ヶ月の工期をかけ、倉敷医療生協のセンター病院としてオープンした(1985年11月)



▲当院も参加した倉敷成人病センター
地域医療連携のつどいのようす(9/13)

村真弓
企画室
(地域連携
西)

外来にお問
い合わせく
ださい。
お気軽に当
院産婦人科
連携し対応
いたします。

倉敷成人病センター
でお産を希望される妊
娠34週頃までの妊婦健
診を水島協同病院で受
けていただくことがで
きるよう、周産期医療
連携を行っています。

当院の妊婦健診は、待
ていていただけます。

倉敷成人病センター
の助産師が在籍してお
り、専門的な知識を活
用して相談や指導を行
っています。緊急時は、
連携を行っています。

また、当院には6名
の助産師が在籍してお
り、専門的な知識を活
用して相談や指導を行
っています。緊急時は、
連携を行っています。

倉敷成人病センター
連携し対応いたしま
す。

倉敷成人病センター
連携し対応いたしま
す。

倉敷医療生協・水島協同病院設立 70周年を迎えて



「まず診る、援助する、なんとかする」医療活動が70年経った今も続いているのは、組合員さんに支えられた病院であったからです。

差額ベッド料を頂かない
病院としてこれからも頑張
り続けます。

(院長 山本明広)

時間を作り
効率的に
おすすめ!
近くで妊婦健診が

倉敷成人病センター周産期センターと協力し
『周産期医療連携』を推進しています

